

## 各教科の結果について

ここでは本市として、「よくできたこと」と「課題が見られたこと」をお知らせします。

◎よくできたこと      ▽課題が見られたこと

### 小学校（4・5・6年）

#### 国語

◎目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

▽目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くこと

#### 算数

◎折れ線グラフや表の変化の特徴を読み取ること

▽「もとになる量」と「比べられる量」の意味や関係性を理解すること

#### 理科

◎生物の体のつくりと働きを正しく理解すること

▽実験結果を分析し、考察を自分の言葉で説明すること

★小4・5はとちぎっ子学習状況調査、小6は全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科実施）

### 中学校（2・3年）

#### 国語

◎書くこととする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成すること

▽物語の展開や表現について自分の考えをもち表現すること

#### 数学

◎与えられた事象について解決の方法を数学的に説明すること

▽関数について意味の理解やグラフ・表の読み取り、数量関係を式で表すこと

#### 理科

◎植物の分類について特徴をもとに考えること

▽必要に応じて単位をそろえて実験結果を導くこと

#### 社会

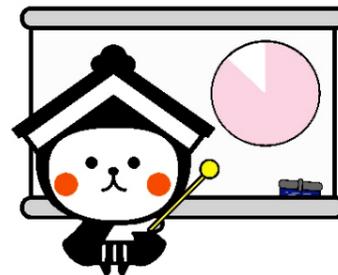
◎地球儀上の緯度・経度を使った位置をとらえること

▽歴史上の人物の繁栄の理由を地図やグラフなどの資料を根拠に説明すること

#### 英語

◎単文や疑問文を聞き取ること

▽まとまりのある英文を読み取ることやテーマに基づいて英作文を書くこと



★中2はとちぎっ子学習状況調査（5教科実施）、中3は全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科実施）

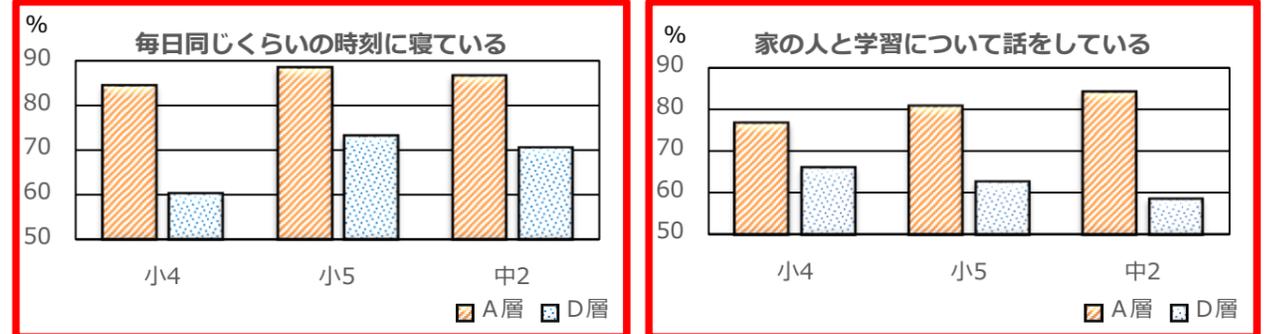
**各教科の平均正答率は、全国・県と同程度でした。また、基礎的・基本的な内容、学んだことを活用する内容についてはおおむね良好ですが、一部に課題も見られました。**

**各学校では、今回の結果を分析し、学力向上に取り組んでいきます。**

## 学習状況調査の結果について



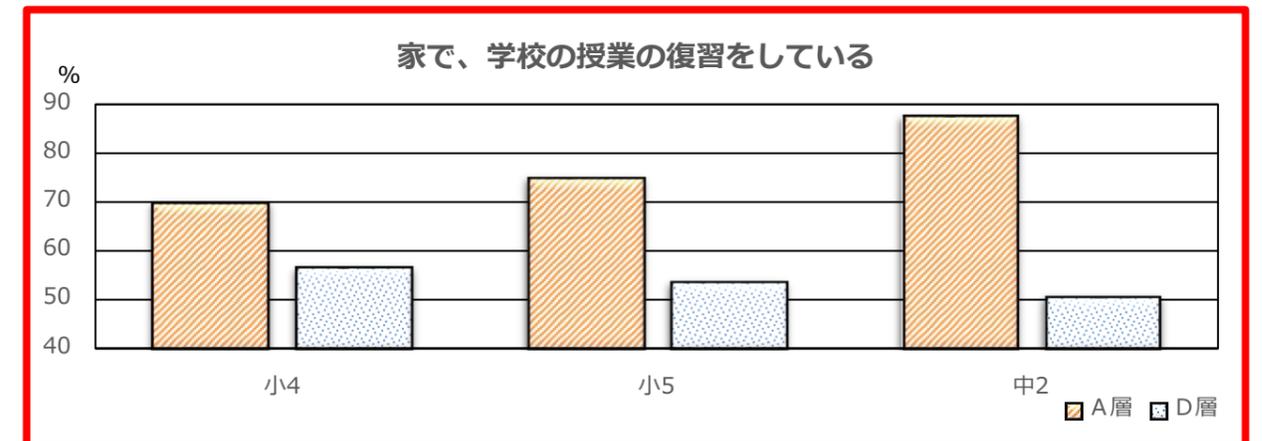
### 家庭での過ごし方



上のグラフは、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「家の人と学習について話をしている」について、A層（成績上位層）とD層（成績下位層）それぞれで肯定的な回答をした割合です。寝る時刻を決めて生活したり、学習についての会話を多くしたりしている児童生徒ほど、正答率が高いことが分かります。

**規則正しい生活を送ることや家庭で学習についての会話をすること、子どもたちの学力形成には、深い関係があります。**

### 家庭学習の内容



上のグラフは、「家で学校の授業の復習をしている」について、A層（成績上位層）とD層（成績下位層）それぞれで肯定的な回答をした割合です。学年が上がるにつれて家で授業の復習をしている児童生徒ほど、正答率の高いことが分かります。

**学校で学んだことをその日のうちに復習することで、学力の定着が図れます。**

A層・D層 = 4層分析による：児童生徒を正答率によって25%刻みの層に分け、上位からA・B・C・D層としている。